

手のつなぐ親と子



令和7年11月発行 登別市教育委員会・学校教育グループ「子育てコラム」No. 51

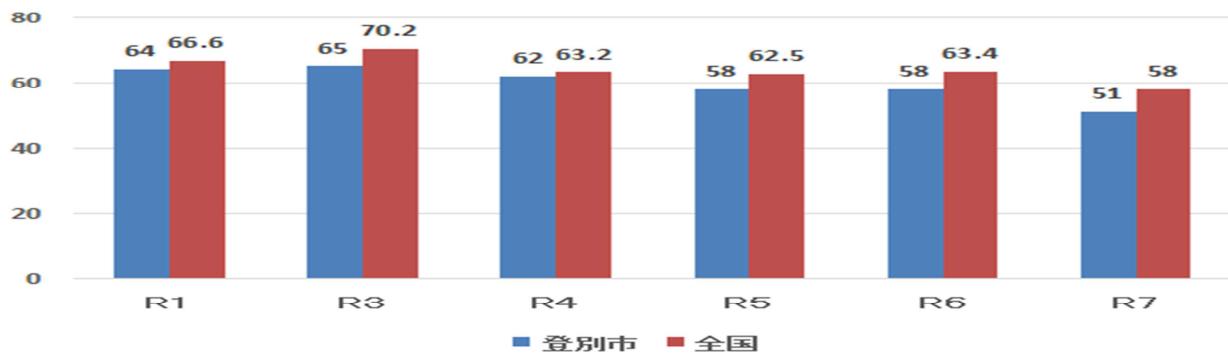
～算数・数学は好きですか？？～

お子さんは、算数・数学が得意ですか？苦手ですか？

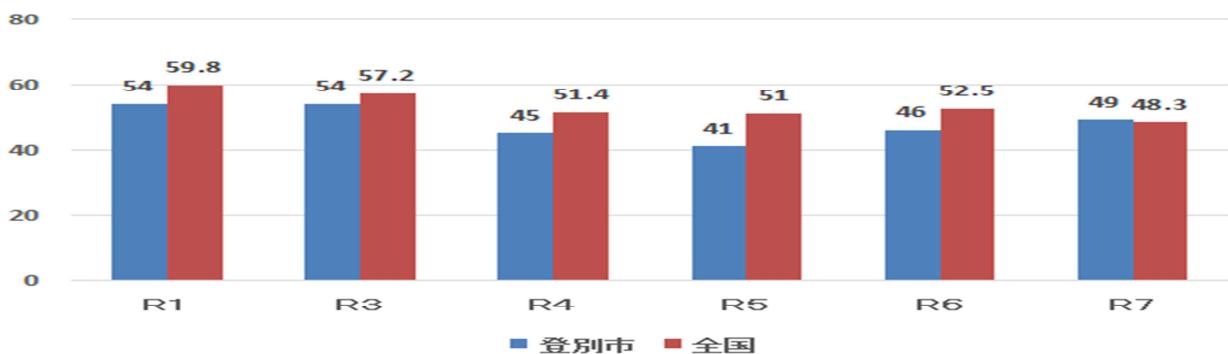
次のグラフは、文部科学省が毎年実施している「全国学力・学習状況調査」(小学第6学年と中学第3学年が対象)の算数・数学の平均正答率について、登別市と全国を比較したものです。令和7年度は中学生が全国の平均正答率を若干上回りましたが、全体的に見ると、本市の児童生徒は全国と比べ算数・数学を苦手にしていることがわかります。

算数・数学に係る「全国学力・学習状況調査」の結果(登別市と全国との比較)

小学校算数の平均正答率(%)



中学校数学の平均正答率(%)



※回答する児童生徒と問題の難易度は毎年異なるため、過年度の平均正答率との比較は適当ではない。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。

家庭でできる「算数・数学の学力向上」！

学力を高めるためには、授業や家庭学習も重要ですが、何よりお子さん自身が学習意欲を高めることが大切です。そこで、「算数・数学の勉強はなぜ大切なのか・必要なのか」を話し合ってみてはいかがでしょうか。その際、次のように実生活と関連させると説得力が増します。

- 買い物での計算、時間の見通しや管理、料理をする際の分量を計るのに役立ちます。
 - 本や資料のグラフや表から必要な内容を読み取れるようになります。
 - 問題を解く過程を見通し、順序立てて考えることで論理的に考える力が身に付きます。
 - 平面や立体など空間の認識力が高まり、スポーツなどにも役立ちます。
 - 将来の職業や進路の幅が広がります。

誰でもできる声かけで、算数・数学を得意な子に！！

本市の全国学力・学習状況調査の結果分析から、「計算はある程度できている」のですが、「文章問題が解けていない」ことがわかりました。さらに、誤答の傾向から、「問題文が正しく読み取れていない」ことがわかりました。

お子さんが家庭で文章問題に取り組む際、次のような声かけをすると、お子さんの勉強をサポートすることができます。ポイントは、「子供が自ら考え、自ら答えるように導く」ことです。家庭での声かけで、算数・数学が得意な子供を育てていきましょう。

【文章問題での声かけの例】

- 「何を求める問題なの？」
 - 「答えの単位は何？」
 - 「答えを求めるのに必要な数字は何？」
 - 「何算をしたらいいのかな？」
 - それでも問題が解けなかったら、「明日、先生に聞いて教えてもらつたらいいよ。」

問題が解けるまで時間がかかるかもしれません、子どもの側にいて、声をかけ見守ってください。

※声かけの例は、あくまでも一例です。お子さんの年齢や学習状況に応じて異なります。
お子さんが勉強に取り組めるように、まずは学習への興味を引き出すことが大切です。

【オンラインドリルをたくさん使ってください。】

登別市教育委員会では、学力向上のため、小学校1年生から中学校3年生を対象に、複数の教科に対応したオンライン(AI)ドリルを導入しています。お子さんの理解度に合わせて予習したり、復習したりすることができますので、なかなかお時間がとれない場合は、AIドリルをご活用ください。

誰でも相談できます!

～身近に相談できる人がいます～

- 子ども相談支援センター・・・・・・ 0120-3882-56 (24時間対応)
 - 24時間子供SOSダイヤル・・・・・・ 0120-0-78310 (24時間対応)
 - 登別市いじめ相談(教育相談)電話・・・ 85-0085 (月~金 9時~17時)
 - 登別市教育指導室「メール相談」・・・ tsunagu@city.noboribetsu.lg.jp